



未来橋

令和7年11月

高浜町立高浜中学校



Takahama Junior High School

思いを乗せ、高らかに響く歌声

先日、合唱コンクールを開催しました。高中祭に続き、限られた期間の中で全力を尽くした生徒たちの素晴らしい歌声が、体育館いっぱいに響き渡りました。

毎日の練習では、「この部分は男声をもう少し小さく、柔らかく歌おう」「このフレーズは息継ぎなしで一気に歌いきろう」など、クラスで最高のハーモニーを目指して取り組む姿が見られました。特に縦割りの合唱練習で3年生が学級全員で一つのことに真剣に取り組む姿勢を示し、その大切さを後輩たちに伝えてくれました。これまでの中学校生活で培った経験が生かされていると感じました。



本番では、どの生徒からも少し緊張した様子を見せながらも、その引き締まった表情からは、失敗を恐れるのではなく、仲間と励まし合いながら積み重ねてきた練習の成果を精一杯表現しようとする意気込みが伝わってきました。

発表が終わると、生徒たちは一様に安堵の表情を浮かべ、教室へ戻ると、仲間と心を一つにして乗り越えてきた道のりを振り返りながら、互いの頑張りを称え合う笑顔が輝いていました。

テーマは「繫創」、後期生徒会始動

後期生徒会選挙を行いました。リーダーの役割は、3年生から2年生へと引き継がれます。立会演説会では、立候補者と応援者が堂々と公約を説明し、発表者の凛とした態度、それを真剣に聴き入る全校生徒の温かなまなざしが印象的でした。こうした光景が成立するのも、これまで、3年生が学校を少しでも良くしようと生徒会活動を盛り上げ、取り組みを前へ進めてきた確かな足跡があるからに他なりません。



この選挙に初めて参加した1年生からは、「大勢の前で堂々と演説できるなんてかっこよかった。1年後は自分たちの番だと思うとワクワクする」「どの演説も責任感が伝わり、納得できる内容で投票に迷った。これからどんな学校になるのか楽しみです」「自分もこんな立派な先輩になりたいと思った。なれるように日々の努力を積み重ねたい」など、上級生に対する期待や憧れの声が数多く聞かれました。



その後、電子投票の結果を受けて後期生徒会がスタートしました。

後期生徒会の活動テーマは「繫創(つなつく)」です。「さまざまな繋がりを創りながら、新たな学校を創っていく」いう想いが込められているのです。これからどのような活動が展開されていくのか、楽しみに見守り、応援してきたいと思います。

前期 学校評価アンケートの結果（詳細は、9月にH&Sにて連絡）

スクールプランに基づくアンケートの集計結果と今後の取り組みについてお知らせします。

確かな学力

※数字は達成度(肯定的な回答の割合) %

質問項目	生徒	保護者
① 授業で学ぶことが楽しいと感じている。	85	—
② すすんで学習に取り組むことができた。	89	75
③ タブレットを活用し、情報の収集・分析や、自分の考えを表現できた。	92	75

生徒の達成状況は、設定目標の8割を超えており、一定の成果が見られます。一方で、保護者の回答からは、まだ十分とは言えない面も示唆されています。今後も「生徒主体の学び」をめざし、「調べたい」「やってみたい」と思える課題の設定や、自ら問い合わせ立てて解決に取り組める授業づくりを進めます。生徒一人ひとりが、自分に合った方法で学びを楽しめるよう、学習環境の工夫に努めてまいります。

豊かな心

質問項目	生徒	保護者
④ 生徒会や学年・学級の活動に、主体的に参加することができた。	82	79
⑤ 自他のよさを認め合い、仲間と協力することができた。	93	95
⑥ 道徳的な課題について話し合いを通して考えを深めることができた。	94	—
⑦ ネット利用について、ルールやモラルを守って正しく使用している。	88	68

生徒の9割が、仲間と協力して活動を楽しめたと回答しており、学校生活の充実がうかがえます。今後も、すべての生徒が安心して通い、学びを楽しめる環境づくりをめざし、道徳教育や人権教育の充実に努めてまいります。

一方、ネット利用に関しては、昨年度と同様に生徒と保護者の間で意識の差が見られます。SNSをめぐる気がかりな事案も増加傾向にあり、継続的な指導を行っています。ネットトラブルは誰にでも起こり得ることとして、ぜひご家庭でも話し合いの機会を設けていただきますようお願いいたします。

健やかな体

質問項目	生徒	保護者
⑧ 自分で計画した生活を心がけることができた。	78	51
⑨ 自他の命について考え、関心をもち生活することができた。	97	91

目標の85%を下回る結果となりましたが、メディアコントロールの取り組みを通じて、自分の生活を丁寧に振り返る姿勢が見られました。今後もライフプラン学習の充実を図り、生徒が自分の時間の使い方や将来について主体的に考えられるよう支援していきます。

また、ご家庭でもメディア利用やタイムマネジメントについて話し合う機会をもっていただくことで、関心や意識の向上につながります。学校としても、広報・啓発活動を継続し、家庭と連携しながらさらなる改善に努めてまいります。

家庭・地域に開かれた学校

質問項目	生徒	保護者
⑩ ふるさとの課題を見つけ、解決しようと取り組むことができた。	83	76
⑪ ボランティア活動など地域に貢献する活動に取り組むことができた。	53	—

目標の80%を上回る結果となりました。学級や学年の実態に応じて活動内容を工夫しながら、生徒が主体的に取り組む姿が見られ、自分のふるさとをよりよくしたいという意識につながっています。

また、ボランティア活動に積極的に参加する生徒も増えており、探究活動を通じて、生徒自身が考えた地域貢献やボランティアの企画の実施に向けた支援を今後も進めていきます。地域とともに育つ学校として、学びの場をさらに広げていきたいと考えています。